



私は15歳

通常上映

イラン映画特集

子どもを描いたイラン映画の特集

特別企画

PIA FILM FESTIVAL ぴあフィルムフェスティバルin福岡

第41回ぴあフィルムフェスティバルの入選作を上映



スーパーミキンコリニスタ



何度でも忘れよう



フォルナーリャの聖泉



アポカドの固さ

通常
上映

イラン映画特集

子どもを描いたイラン映画の特集

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
(チケットの販売は上映の1時間前からです。)
※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)
※「わの会」会員の方は250円。
(会員証の提示が必要です。)

会期:4月2日(木)~4月19日(日) ※休館日・休映日除く
観覧料:500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

10(金) 14:00 / 19(日) 11:00

私は15歳 *I'm Taraneh, 15*



タラネは15歳の少女。彼女はアミールという少年に求婚される。二人は卒業後に結婚することにして、とりあえず宗教上の結婚をする。ところが4ヶ月後アミールは別の女性と歩いていて補導される。婚約を破棄するタラネだか、その後妊娠したことを知るのだった。本作で描かれる宗教上の結婚とはイスラム教独特のもの。未成年で未婚の女性が子どもを産むことが、世間からどのように見られるかが本作では良くわかる。タラネを演じたタラネ・アリディステは本作がデビューで、素晴らしい演技を見せる。そしてこの後イランを代表する女優になる。

監督:ラスール・サドレアメリ
出演:タラネ・アリディステ ホセイン・マジューブ
2002年/35ミリ/カラー/110分/イラン 日本語・英語字幕付き



2(木) 11:00 / 11(土) 14:00

ハーモニカ *Harmonica*



監督:アミル・ナデリ
出演:マームド・グダルズイ
シーラ・ダルビシ
1973年/35ミリ/カラー/80分
イラン/日本語・英語字幕付き

アブドルはいじめられっ子だったが、ある日おじいさんから日本製のハーモニカをもらう。するとみんなアブドルがうらやましくて、彼は人気者になってしまう。力と権力構造を寓話的に表現した作品で、大きな論争となった。巨匠アミル・ナデリ監督のイスラム革命前の作品。

3(金) 14:00 / 12(日) 11:00

選択 *The Need*



監督:アリ=レザ・ダウドネジャード
出演:アリ・スリ
タラホム・ファティ
1991年/35ミリ/カラー/80分
イラン/日本語・英語字幕付き

父親が死亡した少年アリはやむなく印刷所に面接に行く。そこには少年レザが来ており、印刷所は働きを見てどちらか一人を採用するという。二人は喧嘩をしながらお互いを認め合っていく。二人の少年が仕事の中で人間的な成長をしていく姿を描いた作品。映画に使われているイランの伝統音楽が美しい。

8(水) 14:00 / 18(土) 14:00

神さまへの贈り物 *Bag of Rice*



監督:モハマッド=アリ・タレビ
出演:マスメ・エスカンダリ
ジェイラン・アバドザデー
1996年/35ミリ/カラー/80分
イラン=日本/日本語・英語字幕付き

4歳の少女ジェイランは外に遊びに行きたくて、近所に住むマスメおばあさんと一緒に配給の米を取りに行く。ところがジェイランはおばあさんを困らせることばかりしてしまう。日本とイランの初の合作映画。老人と少女が重い米を苦勞して持ち帰る様を優しく描いた作品。

2(木) 14:00 / 11(土) 11:00

春へ *The Spring*



監督:アボルファズル・ジャリリ
出演:マヒディ・アザディ
1985年/35ミリ/カラー/85分
イラン/日本語・英語字幕付き

イラン・イラク戦争中。少年モハマドは森の中でシナ老人と暮らしていた。ある日モハマドは兵士と出会い、故郷ボスタンの話を聞き、望郷の念にかられる。国際的な評価が高いジャリリ監督作品。イラン・イラク戦争(80年~88年)の最中に製作されており、平和を願う気持ちが率直に描かれる。

4(土) 14:00 / 15(水) 11:00

バデック 砂漠の少年 *Baduk*



監督:マジド・マジディ
出演:モハマッド・カセビ
メヘロラ・マザルゼヒ
1992年/35ミリ/カラー/86分
イラン/日本語字幕付き

砂漠の村。父親を亡くしたジャファルとジャマルの兄妹は誘拐されられてしまう。ジャファルは密輸商のアブドラーに買われ、他の少年と一緒に密輸の仕事させられる。しかしスキを見て妹を行方を探すのだった。巨匠マジド・マジディ監督の監督デビュー作。バデックとはパキスタンから密輸を行う人々の事。

5(日) 14:00 / 16(木) 11:00

天使のような子どもたち *Children of the Heaven*



監督:マジド・マジディ
出演:モハマド=アミル・ナージ
バハレ・セツデギ
1997年/35ミリ/カラー/88分
イラン/日本語・英語字幕付き

少年アリは妹の古い靴を修理に出すが、途中で靴を無くしてしまう。家族に言い出せないアリは、自分の靴を妹と交互に履いて学校に行く。ある日マラソン大会があり3等の商品が運動靴であることを知ったアリは、妹のために出場する。「運動靴と赤い金魚」という題で日本でも公開された傑作。

3(金) 11:00 / 12(日) 14:00

鍵 *The Key*



監督:エブラヒム・フルゼシュ
出演:マハナス・アンサリアン
ファテマ・アサール
1987年/35ミリ/カラー/76分
イラン/日本語字幕付き

4歳の少年アミールは母親に赤ん坊の世話と家の留守番を言いつけられる。母親は家に鍵をして出かける。しばらくして台所から料理の焦げる匂いがする。そこからアミールの大奮闘が始まる。巨匠アッバス・キアロスタミ脚本・編集による作品。シンプルなお内容だがサスペンス映画のようである。

4(土) 11:00 / 15(水) 14:00

ザ・ブーツ *The Boots*



監督:モハマッド=アリ・タレビ
出演:サマネ・ジャファ・ジャリリ
ロヤ・ナシリ
1993年/35ミリ/カラー/59分
イラン/日本語・英語字幕付き

少女のサマネは赤いブーツを買ってもらおうが居眠りしてバスの中で落としてしまう。翌日母親だけでなく、サマネと友達たちもみんな赤いブーツの行方を探すのだった。愛らしい物語でさわやかな感動を呼び起こす作品。監督が原作の短編小説に感動し映画化したもの。

8(水) 11:00 / 17(金) 11:00

ぼくは一人前 *The Little Man*



監督:エブラヒム・フルゼシュ
出演:モハマド=レザ・サファリ
マルヤム・カゼミ
1998年/35ミリ/カラー/86分
イラン/日本語・英語字幕付き

11歳の少年ママルは7人家族。ママルは祖父が荒れた土地を開墾して畑を作り始めたことを知り母親に内緒で手伝う。ママルは夜まで手伝いをするためいつも学校に遅刻してしまうのだった。労働の大切さ、生きることの大切さを描いた作品。子どもを見守る大人たちの優しさも随所に描かれている。

特別企画

PIFF ぴあフィルムフェスティバルin福岡

第41回ぴあフィルムフェスティバルの入選作を上映

会期：4月25日(土)～4月29日(水・祝) ※休館日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

協力：一般社団法人PIFF

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)



天使のような子どもたち

5(日) 11:00 / 16(木) 14:00

カラー・オブ・パラダイス

Color of Paradise



監督：マジド・マジディ
出演：ホセイン・マージューブ
モフセン・ラマザーニ
1999年/35ミリ/カラー/90分
イラン/日本語・英語字幕付き

モハマドは全寮制の盲学校に通う8歳の少年。夏休み父親と一緒に山間の村に行く。父親は再婚を考えており、将来のためモハマドを大工の修行に出すのだった。マジディ監督は盲学校の少年と知り合い、彼らが独自の世界を持っていることに気が付いて本作を監督している。「太陽は、ぼくの瞳」という題で日本でも公開された傑作。

9(木) 11:00 / 17(金) 14:00

としごろ Sweet Agony



監督：アリ・レザ・ダウドネジャード
出演：レザ・ダウドネジャード
モナ・ダウドネジャード
1999年/35ミリ/カラー/88分
イラン/日本語・英語字幕付き

レザは18歳。許嫁のモナとすぐにでも結婚したいのだが、親たちは彼らが真面目に勉強しなくなることを心配して結婚を許さない。映画はフィクションだが、レザは監督の息子、モナは監督の兄の娘である。家族で作られた映画で、まるでドキュメンタリーのように見える作品。

9(木) 14:00 / 18(土) 11:00

スニーカーの少女

The Girl in the Sneakers



監督：ラスール・サドレアメリ
出演：ベガー・アハンガラニー
マジド・ハジザデ
1999年/35ミリ/カラー/97分
イラン/日本語・英語字幕付き

タダイは15歳の少女でアイディンというボーイフレンドがいた。ある日二人は公園でデートをしていて警官に補導される。家族は二人を引き離そうとするが、タダイは家を出してしまう。イスラム教の国イランでは未婚の男女が二人で過ごすことは許されない。自由化の中で自己主張を始めた女性を描く作品。

10(金) 11:00 / 19(日) 14:00

ささやき Whispers



監督：バルビズ・シャーバズイ
出演：アリ・セイフ
サマネ・セイフ
2000年/35ミリ/カラー/77分
イラン/日本語・英語字幕付き

テヘランの街角。3人組のストリートチルドレンが、カードなどを売っていた。年上の少年がときどき大人に何かを相談する。大人たちは良いことだと言うがなかなか引き受けてくれない。少年がひそひそと何を相談しているのかが興味深い作品。ラストのオチも秀逸。

25(土) 11:00

雨のやむとき

監督：山口優衣
2019年/デジタル/カラー/28分
PIFFアワード準グランプリ



それぞれに家庭の問題を抱える中学生の里佳子と航汰。大人の世界に振り回される孤独な子どもたちの感情に丁寧に寄り添った作品。

そんなこと考えるの馬鹿

監督：田村将章 2019年/デジタル/カラー/45分

いとこのアキオが住む家に遊びに来た夏子。アキオは透明人間のおばあちゃんと会話をしていた。いま自分が見ている世界の常識や当たり前が揺らぐ一作。

25(土) 14:00

散歩する植物

監督：金子由里奈 2019年/デジタル/カラー/30分

“植物になりたい”泰子は、ある日植物園で航と出会う。やがて航には根っこが生えてきて…。印象的な言葉と映像で不思議な世界に惹き込まれる作品。

おぼけ 監督：中尾広道 2019年/デジタル/カラー/64分

PIFFアワードグランプリ

一人で自主映画をつくり続ける監督と、彼を見守るはるか宇宙の星たち。映画への愛に胸が熱くなるロマンチックな作品。

26(日) 11:00

ぬかる

監督：加藤紗希 2019年/デジタル/カラー/25分

姉が家に戻ると、妹と一緒に若い男女が住み着いていた。自らも俳優である監督が役者たちの魅力を引き出した、心をざわつかせる悲喜劇。

フォルナーリャの聖泉

監督：桑山篤 2019年/デジタル/カラー/26分

失恋の傷を癒すために、ポルトガルの伝説であるフォルナーリャの聖泉へ向かう。自らに向き合いながら外の世界に飛び出すロードムービー。桑山監督は福岡県出身。

きえてたまるか

監督：清水啓吾 2019年/デジタル/カラー/29分

PIFFアワード審査員特別賞

偶然手にした自主制作のCD、そこには誰も知らない作り手の物語がある。ものづくりの楽しさが詰まった愛おしい青春映画。

26(日) 14:00

温泉旅行記(霧島・黒川・嬉野)

監督：佐藤奏太 2019年/デジタル/カラー/24分

監督自身がカメラを持ち、自らの新婚旅行を記録した日記映画。にじみ出る亡き祖母への想いと妻への愛に心動かされる。

スーパーミキンコリニスタ

監督：草場尚也 2019年/デジタル/カラー/101分

PIFFアワードエンタテインメント賞
ジュエストーン賞

役者志望のミキンコリニスタは、情熱はあるけど先の見えないエキストラ俳優。その一挙手一投足に誰もが虜になる。監督は長崎県出身。

28(火) 11:00

くじらの湯

監督：キヤマミズキ 2019年/デジタル/カラー/7分

PIFFアワード審査員特別賞

母親に連れられ銭湯に行く子どもの体験を、色鮮やかに描いたアニメーション。扉を開ければ湯気の向こうに広がる非日常的で奇妙な世界。

アボカドの国さ

監督：城真也 2019年/デジタル/カラー/96分

5年間付き合った恋人に別れを告げられるも、どうにかやり直したい前原。空回りする復縁作戦の行方は…。

28(火) 14:00

何度でも忘れよう

監督：しばたかひろ 2019年/デジタル/カラー/10分

不安定なママと2人で森に暮らす、クマのぬいぐるみ。断片的に描かれるクマの生活から、幸せや痛み、様々な感覚を想像させる詩的なアニメーション。

ビューティフル、グッバイ

監督：今村瑛一 2019年/デジタル/カラー/113分

PIFFアワード審査員特別賞

人を刺した男と、恋人にゾンビとして蘇らされた女。追っ手から逃れるための逃避行で、心を通わせていくゆくふたり…。

29(水・祝) 11:00

めぐみ

監督：道岡円香 2019年/デジタル/カラー/34分

美大を目指す高校生めぐみ。母とその再婚相手と暮らし、時々は上京した父にも会う。少女の複雑な気持ちを丁寧に描いた作品。



OLD DAYS

監督：末松暢茂 2019年/デジタル/カラー/54分

PIFFアワード観客賞

久しぶりに再会した暴走族仲間。過ぎてしまった時間と変わらない友情。これは紛れもない青春映画。リアルな暴走描写も見どころ。

29(水・祝) 14:00

自転車は秋の底

監督：遠真平 2019年/デジタル/カラー/34分

突然、無人の自転車に追われる男。奇妙な物体に遭遇する女。自転車と男女の不思議な物語が観る人の想像力を刺激する。

東京少女 監督：橋本根大 2019年/デジタル/カラー/8分

PIFFアワード映画ファン賞

2019年1月、もうすぐ1つの時代が終わる。“わたし”と切っても切り離せない“時代”の断片を集めた短編。

ワンダラー

監督：小林瑛美 2019年/デジタル/カラー/31分

恋人から出張でデンマーク旅行に行けなと言われた咲子。家にながら旅行を演じるうち、不思議と周りの世界は変わってゆく。





3/9月▶16月 図書整理・点検のための休館

17火▶22日 休映日

23月 休館日

24火▶27金 休映日

28土 親子で楽しむ映画上映会

29日 自主上映／福岡映画サークル協議会例会

30月・31火 休館日

4/1水 休映日

2木 11:00 ハーモニカ 14:00 春へ

3金 11:00 鍵 14:00 選択

4土 11:00 ザ・ブーツ 14:00 バデュク 砂漠の少年

5日 11:00 カラー・オブ・パラダイス 14:00 天使のような子どもたち

6月 休館日

7火 休映日

8水 11:00 ぼくは一人前 14:00 神さまへの贈り物

9木 11:00 としごろ 14:00 スニーカーの少女

10金 11:00 ささやき 14:00 私は15歳

11土 11:00 春へ 14:00 ハーモニカ

12日 11:00 選択 14:00 鍵

13月 休館日

14火 休映日

15水 11:00 バデュク 砂漠の少年 14:00 ザ・ブーツ

16木 11:00 天使のような子どもたち 14:00 カラー・オブ・パラダイス

17金 11:00 ぼくは一人前 14:00 としごろ

18土 11:00 スニーカーの少女 14:00 神さまへの贈り物

19日 11:00 私は15歳 14:00 ささやき

20月 休館日

21火▶24金 休映日

25土 11:00 雨のやむとき 他 14:00 おばけ 他

26日 11:00 フォルナーリャの聖泉 他 14:00 スーパーミキンコリニスタ 他

27月 休館日

28火 11:00 くじらの湯 他 14:00 ビューティフル・グッバイ 他

29水祝 11:00 OLD DAYS 他 14:00 東京少女 他

30木 休館日

イ
ラ
ン
映
画
特
集

フ
ェ
ィ
ル
ム
in
福
岡

観覧料
無料

上映作品「ジャングル・スクール」

監督：リリ・リザ/2013年/デジタル/カラー/90分/インドネシア/日本語・英語字幕付き

日時 2月29日(土)
13:30～

会場 高取公民館1階講堂
福岡市早良区高取1丁目14-13
Tel.092-851-9705

※60名限定。先着順。

※観覧の申込先は高取公民館へ電話でご連絡ください。定員になり次第締め切ります。

※お越しの際は公共交通機関をご利用下さい。

※上映30分前から講堂に入場できます。

主催：福岡市総合図書館映像資料課 共催：高取公民館



親子で楽しむ映画鑑賞会



上映
作品

「しまじろうとまほうのしまのだいぼうけん」

日時 3月28日(土)
10:30～12:30

観覧料 無料
(要申し込み)

映画上映の後に
お楽しみ抽選会
などあります。

申し込み及びお問い合わせは

株式会社ジュピターテレコム

Tel.0120-999-000 (営業時間9:00～18:00)

主催：ジェイコム九州 共催：福岡市総合図書館



自主上映のお知らせ

3月29日(日) 福岡映画サークル協議会例会

上映作品：「記者たち 衝撃と畏怖の真実」(2017年/91分/アメリカ)
①11:00～ ②14:00～

料 金：一般 当日1,400円(前売り1,200円)
シニア 当日1,100円／中高生 当日800円
障がい者 当日1,000円

主 催：福岡映画サークル協議会 TEL092-781-2817

※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

図書整理・点検のための休館

福岡市総合図書館は3月9日(月)～3月16日(月)まで図書整理のため休館します。休館中も図書は返却ポスト等に返却できます。図書整理期間中CD、DVD、VHSは総合図書館警備員室前のボックスに返却することができます。

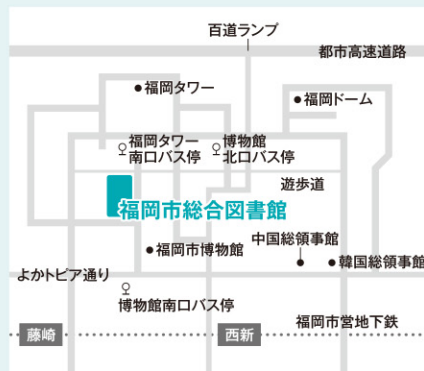
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)：tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター【tel.0570-00-1010】に直接お問い合わせください。